社会資本総合整備計画 事後評価書 \$\phi \text{\$\phi\$} \text{\$

エム只	个心口正	#	子区												Q 1H00 1 017	J
計画の名称	大島町におけ	る防災性の	D向上 第2期	(防災・安全)												
計画の期間	令和02年	隻 ~	令和05年度	(4年間)									重点配分対象	の該当		
交付対象	大島町												·			
計画の目標	・平成25年	台風第26	5号で発生した:	土砂災害によって被	災した一帯	において、道路、	広場、緑地等	の地区公共施設整備に	より、避難の円滑	化、防風機能、這	遊水機能の確保を	図り、地区の防災性向	上を目的とする。			
	・歩行者空間	(堆積工、	導流堤などの:	土砂災害対策や流路	、メモリア	'ル公園を連結)(の確保など被災	《地一帯を土砂災害対策	の学習と災害の教	訓を伝える場とし	して活用できるよう	うに整備し地域防災力	の向上を図る。			
	・海上からの	虱を防ぐ植	樹林帯の再生に。	より、大島らしい自	然と調和し	た景観形成を図る	3.									
全体事業費	(百万円)	合計(A + B + C + [))	410	Α	410 B	0	С	0 D	0	効果促進事業費の	D割合C / (A + B + C +	D)	0	%
· ·			· ·									•	•			

	計画の成果目標(定量的指標)							
番号		定量的指標の現況値及び目標値						
田与	定量的指標の定義及び算定式	当初現況値	中間目標値	最終目標値				
		令和2年度	令和4年度末	令和5年度末				
1	避難路となる町道を総延長1720m整備することにより、津波や土石流等の災害時における流路沿い居住者158人の避難時間短縮が図れる。							
	対象エリア内の住民の平均避難時間	6分	4分	4分				
	自宅 一時集合場所(津波時は各自で高台へ移動) 指定避難場所							
2	防災機能(一時集合場所等)を有した広場を整備をすることで、158人の流路沿い居住者が安全に元町地区指定避難場所に避難できる。							
	大金沢流域居住者における一時集合場所利用状況	0%	100%	100%				
	整備前=各自で避難行動開始 整備後=元町橋下80名及び丸塚橋下78名が各プロック班により避難可能							
				_				
		T						

備考等 個別施設計画を含む - 国土強靱化を含む - 定住自立圏を含む - 連携中枢都市圏を含む - 流域水循環計画を含む - 地域再生計画を含む - 避難確保計画の策定 避難行動要支援者名簿の提供 流域町道等整備事業として新設道4路線を整備する。最終目標年度 2箇所(広場整備及び水利施設等防災機能を併用した広場を目指している)

A 基幹事業					_						_						
		事業	地域		直接		種別 1	種別 2	要素となる事業名	事業内容	市区町村名/			間(年度)		費用	個別施設計画
基幹事業 (大)	番号	種別	種別		間接		イギカリ・	1生力12	(事業箇所)	(延長・面積等)	港湾・地区名	R02 R	.03 R0	4 R05 R06	(百万円)	便益比	策定状況
			実施する	ることによ	り期待	される効果											
		備考															
市街地整備事業	1	都市防災	一般	大島町	直接	大島町	-	-	元町地区町道等整備(町	道路等整備(総延長1.720m	大島町				410		-
	A13-001								道、広場等))、広場等整備(面積350㎡							
)							
										1							
											小計				410		
											1,11				410		
				T			1	ı	T		1				T T		_
											合計				410		
			l .			1	1						- 1		1		
			1	ı		T	1		T		T				1 1		_
			ı	1	1	1	1	ı	1		1		- 1		1		1
I																	

1 案件番号: 0000602182

事後評価 事後評価の実施体制、実施時期 事後評価の実施体制 事後評価の実施時期 大島町議会で構成される「住民・福祉・環境常任委員会」で数値目標の達成状況や事 令和6年6月 業効果の発現状況を検証し、評価を実施した。 公表の方法 大島町の公式ホームページにて掲載 事業効果の発現状況 ・第2期計画では、第1期計画とあわせ約2,600mの全区間の整備が完了したことにより、災害時における住民の避難路確保及び緊急車両等の通行確保が可能となった。 ・一時避難場所等の機能を有した広場2カ所の整備が完了したことにより、地区の防災機能確保が可能となった。 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況 ・新設道路の歩行者空間も整備されたことにより、土砂災害対策の学習や、災害の教訓を伝える場としてのイベント等が 行われている。 定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況(必要に応じて記述) 特記事項(今後の方針等)

・道路、一時避難場所、緑地等の地区公共施設整備が完了したことにより、避難場所への避難路利用及び被災地一帯を土砂災害対策の学習と災害の教訓を伝える場と して活用していく。

目	標値の達成状況													
亚 口	指標(略	にの足がいた。 指標(略称) 3.種値(実績値 リマ連値と実績値差が出た亜田												
	目標値 /	実績値	目標値と実績値に差が出た要因											
1	避難場所	(大島町役場及び都立:	大島高等学校)へ誘導するための町道(細街路・交差点改良)等の整備											
	最 終 目標値	4分												
	天規旭	4分												
	一時避難	場所及び防災機能を有	した広場等の整備											
2	最 終 目標値	100%												
	最 終 実績値	100%												

1